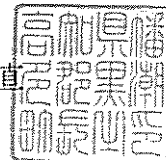


19黒潮0867号
平成19年5月2日

国土交通省道路局長 様

高知県幡多郡黒潮町
黒潮町長 下村 正直



道路の中期的な計画作成にあたっての意見提出について（回答）

平成19年4月2日付け国道企第115号で提出依頼のありました標記のことについては別紙のとおり回答します。

現下の社会情勢は、すべてにおいて地域間格差が広がっています。道路においては特に地方の財政力にもより地域間格差が拡大しています。

地方にとって道路は、生命を守るラインであり、血が通わなければ地方はなくなります。今後も道路財源の確保を強く要請します。

道路の中期的な計画の作成にあたっての意見

高知県幡多地域は、道路等交通基盤整備が全国で最も立ち遅れた地域です。

空港を乗用車に乗って出て、3時間走ってまだ同じ県を走らなくてはならないのは、離島を除いて全国でこの地域のみであります。20年ほど前にこの状態は、北海道の一部と和歌山県の一部にあったと言われていましたが、両地域とも地方空港が整備され、現在ではこの幡多地域のみとなっています。東京の知人を空港に送り、帰途に着くが、知人から「帰宅した」との連絡はいつも帰りの車の中、それからまだ1時間程かかりません。

汽車は走っていますが、JRの民営化により、地域の自治体が第3セクターで運営し、毎年多額の赤字補填をする状況です。

高速道路は、一番近いインターチェンジまで、車で1時間30分以上かかります。

国道は、2桁国道（国道56号線）は走っていますが、片側1車線で多くのところで歩道が整備されていない状況です。

町道においてもほとんどが未整備で、大変危険な状況にあります。

以上の状況の中で、意見を述べます。

1. 重点化を進める上で特に優先度の高い政策

- ・ 道路は国を形成する元、国の幹線道路（高速・高規格道路）を早期に完成させ、地域間格差の是正に努めること。
- ・ 県・市町村道の整備には、地方の財政力による補助金の傾斜配分を行うこと。
- ・ 本町の道路は、行き止まりの道が多く、災害時の孤立は明らかです。安全・安心、命の道路整備が推進できるよう制度改正を行うこと。
- ・ 田舎あつての国です。人が生きていける地域を創る（地域に見合った）道路整備の推進をすること。

2. 効率化を徹底的に進める上で重視すべきこと

- ・ 道路整備において、道路規格の全国統一基準と合わせ、地域基準（統一が必要なら県で統一）での施行認可（例：1,5車線の改良）
- ・ 事業費の抑制（単価・諸経費の抑制）。
- ・ 天下り、談合の防止（談合をした場合長期（5年以上）の入札参加資格の停止等の法制化）。

3. その他、道路政策や道路の整備・管理全般に関する意見

- ・ 道路は国土形成の基盤です。財政力の脆弱な町では、必要な道路整備もままなりません。消防車や救急車、し尿汲み取り車も対応できないところがまだ多く残っています。これらの整備のため補助金制度の拡充を切に望みます。

以上